2010年あけましておめでとう! そして新春初すごろく!?

雷太：
「わっ! 何だコリャ !?」

アン：
「ご覧の通り、すごろくですわ。」

雷太：
「いや、そんなの見りゃ一分かるぜ。じゃなくて、
なんでこんな所にすごろくがあるんだよ?」

ダーク荒井：
「新春! 正月! そして、初すごろくだ! 初レンストもいいが、
お前たちのことだからどうせ冬休みはレンスト三昧だろう!
たまには趣向を変えてみては、いかがかな?」

ヤス斗：
「あけましておめでとうだぜ！ ダーク荒井 ……先生！
というか、じゃーこれは先生が作ったすごろくってことか !?」

スー：
「ちょっとアンタ！ 今パパを呼び捨てにしかけたでしょ！
年明け早々から失礼な奴ね !」

テクノ：
「とはいえ、このすごろく……、マス内のテキストを見る限り
レンストに存在する5つのカテゴリを踏襲した奇抜な内容が
いくつも散見されるようで……。非常に興味深いですね。」

スー：
「WBのカテゴリなんか、ほとんど「1 マス進む」しか
書いてないじゃない。突進馬鹿のヤス斗にはピッタリな
テキスト内容だわ。」

ヤス斗：
「なんだと !?」

ダーク荒井：
「なーにをモメとるんだ、君らは？ とにかく今日は今年3月に
開催予定の公式大会、その大会で上位入賞をするための運気
向上を願って、このすごろくをみんなにやってもらおうと思う。

雷太：
「何だ、願掛けかよ！ そんなオカルトよりもレンストを一回でも
多く対戦した方が早いぜ……

ヤス斗：
「おもしれぇ！大会上位に食い込むには、勝負運とやらも
必要って訳だな！このすごろくバトル、乗ったぜ !」

スー：
「ちょっとアンタ！去年の年末最後のレンスト勝負でアタシに勝ち
越しておいて、今年の初レンストを先送りってどーいうことよ !」

アン：
「あら、スーちゃん。何もレンスト勝負じゃなくても、このすごろくで
ヤス斗さんをコテンのパンにして差し上げたら宜しいんですわ。」

テクノ：
「？？……なんだか今日のアンさんは、いくばくかの毒舌を交え
つつも、どちらかというとヤス斗くん寄りの展開を支持している
ようにお見受けするのですが……?」

アン：
「だってこのすごろくの制作、私もお父様の傍らで少々
お手伝いさせて頂いておりましたものですから。」

雷太：
「いや、てかレンストの勝負って……ええ? 何この展開? 」

テクノ：
「いいでしょう。もとより僕は先程からこのすごろくバトルに興味を
惹かれていたところです。どうやら同時に３人以上でもプレイが
できる仕様のようですし、お付き合いさせていただきますよ。」

ダーク荒井：
「よろしい。ではさっそく始めるとしようか。」

雷太：
「何この展開!? 」

――――右端上の「レンストすごろくの準備」に続く！

ＤＡの捨札がある自分以外のすべてのプレイヤーを、２マス戻してもよい。
自分の手札をすべてオモテにして、必要パワーの数字の１番小さいカードを１枚見て、同じ数だけ進む。
１マス進む。

自分の手札と自分の捨札をすべて置き換えてもよい。

次のターンのプレイヤーが捨札にするカードを見て、そのカードの必要パワーの数字と同じ数進んでもよい。
すべてのプレイヤーは手札をオモテにして、ユニットカードをすべて捨札にする。
すべてのプレイヤーはこのマスに集まる。

自分の捨札のカードがすべてＤＡのカードなら８マス進む。

自分以外の全員、３マス戻る。
このマスよりも先に進んでいるプレイヤーは１回休みになる。

自分の山札の枚数よりも捨札の枚数の方が多ければ、８マス進む。
１マス進む。
３枚ドローする。

全員、自分の手札からユニットカードを１枚選び、見せる。一番ＢＰの高いユニットカードを出したプレイヤーは３マス進む。
２マス戻ってもよい。そうしたとき、自分以外のプレイヤーは３マス戻る。
自分のターンをもう１度行う。

ＤＡの捨札があるすべてのプレイヤーを、３マス戻してもよい。
誰か１人の手札を見ないで２枚まで選び、それを捨札にする。
プレイヤーを１人選び、そのプレイヤーの山札の上から７枚を捨札にする。

自分の捨札から２枚選び、自分の手札に加えてもよい。
自分以外の全員の捨札からそれぞれ１枚を選び、持ち主の山札の上に戻す。
次のプレイヤーが捨札にするために選ぶカードは手札から選べず、かわりに山札の上から捨札になる。

このターンに捨札にしたカードの必要パワーの数字と同じ数まで進む。

プレイヤーを１人選び、そのプレイヤーの山札をすべて捨札にする。
１マス進む。
プレイヤーを１人選び、そのプレイヤーを１回休みにする。

自分だけ２マス進むか、全員４マス進むかを選び、実行する。
１マス進む。
自分以外のプレイヤーを１人選び、手札を１枚見ないで選んでからオモテにする。そのカードの必要パワーの数字と同じ数まで進んでもよい。

自分の手札と捨札を好きな組み合わせに置き換えてもよい。ただし最終的な手札の枚数は、置き換える前と同じ枚数であること。
すべての山札の上から５枚を捨札にする。

次のＭＡのマークの表記されているマスまで進む。
必要パワーの数字が８以上のカードが捨札にあるプレイヤーは、４マス進む。
自分の捨札から２枚選び、自分の手札に加えてもよい。

１マス進む
このターンに捨札にしたカードがユニットのカードなら２マス進む。

自分の捨札のカードの枚数と同じ数まで進む。
次のプレイヤーが捨札にするために選ぶ手札のカードは、かわりに自分が見て選んでもよい。

このターンに捨札にしたカードの必要パワーの数字が０なら２マス進む。
１マス進む。

次のＭＡのマークの表記されているマスまで進む。
自分以外全員の手札を見てそれぞれ１枚選び、それを捨札にする。
自分の捨札から１枚選び、自分の手札に加えてもよい。

自分の山札の上から１枚を見て、山札の上か下に戻す。
自分の山札を見て、好きなカードを手札に加えてからシャッフルする。
３マス進む。

４枚ドローする。
手札を好きな枚数まで選び捨札にしてもよい。そうしたとき、捨札にした枚数と同じ数進む。

このターンに捨札にしたカードの必要パワーの数字が偶数なら、２マス進む。（０は偶数）
誰か１人の手札を見て１枚選び、それを捨札にする。
自分以外の全員、手札から１枚を選び自分自身の山札の下に戻す。

自分の捨札にあるＥＴのカードの枚数と同じ数まで進む。
ＤＡの捨札があるプレイヤーをひとり選び、１マス戻してもよい。

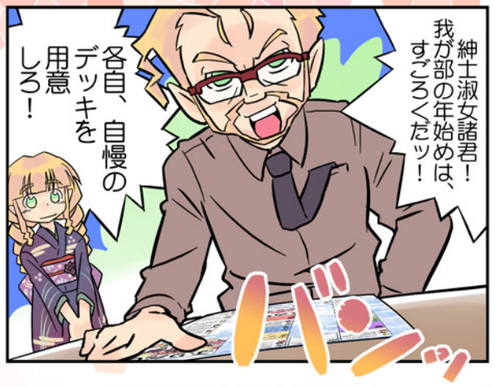
１マス進む。
このターンに捨札にしたカードの必要パワーの数字が奇数なら、２マス進む。（０は偶数）

※「あがり」にピッタリと止まらない場合は、バックします。

・レンストすごろくの準備・

通常のレンストのルールと同じように、各自一組のデッキを準備をして下さい。自分のデッキの上から７枚を手札に加えてゲームスタートです。２人以上でプレイする場合は、ジャンケンの勝者から時計回りに順番を進めてください。

・レンストすごろくの基本ルール・

①自分の山札の上から１枚ひいて、自分の手札に加えてください。
　山札が１枚も無い場合、手札が尽きた所でリタイアとなります。
②自分の手札から好きなカードを１枚選び捨札にして、１マス進めます。
③止まったマスに、捨札にしたカードのカテゴリと同じカテゴリマークのついたテキストがあれば、そのテキストの指示に可能な限り従ってください。捨札にしたカードがマルチカテゴリのカードの場合は、両方のテキストの指示を可能な限り実行します。また、このとき従ったテキストによって別のマスに移動した場合、そのマスのテキストには従いません。（基本ルールと矛盾するテキストが書かれていた場合、マスのテキストを優先して処理します）
④次の順番のプレイヤーにターンを譲ります。

新春初部活